

(2) 2級水系流域治水プロジェクトのフォローアップ及び 新規プロジェクト(案)について

※現プロジェクト(新川、厚田川、望来川)にて今年度実施いただいた取り組み内容及び来年度以降の取り組みの御報告と各種対策の代表事例、新たに追加となるプロジェクト(案)についてご紹介させていただきます。

(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
札幌市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<新川> ・流出抑制施設の設置 継続実施中 (開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等) ・窪地など雨水が集まりやすい場所への対策 継続実施中 ・樋門等の操作規則の策定		<新川> ・流出抑制施設の設置 継続実施 (開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等) ・窪地など雨水が集まりやすい場所への対策 継続実施 ・樋門等の操作規則の運用(訓練、点検など)	
	被害対象を減少させるための対策	<新川> ・土地利用・住まい方の工夫 継続実施中 (災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定)		<新川> ・土地利用・住まい方の工夫 継続実施 (災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定)	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<新川> ・浸水(内水・洪水)ハザードマップの周知 ・中小河川における浸水想定区域の更新・周知 ・小中学校での防災授業の実施 継続実施中 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施中 ・避難行動の理解促進 継続実施中	<新川> 住民参加による防災訓練の実施	<新川> ・浸水(内水・洪水)ハザードマップの周知 継続実施 ・小中学校での防災授業の実施 継続実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施 ・避難行動の理解促進 継続実施	

■令和4年度 取組内容(新川水系)

- ・雨水流出抑制施設の設置を継続実施。
- ・新たに指定対象となった中小河川の浸水想定区域指定に伴う札幌市浸水ハザードマップ(令和3年度作成)の洪水情報の更新。
- ・住民参加による防災訓練を実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

- ・1,000m²以上の開発行為に対して、**雨水流出抑制施設の設置を義務付けている。**
- ・公共下水道に雨水を排除している大規模施設に対して**雨水流出抑制の取組をお願いしている。**



市民・企業の皆様への雨水流出抑制のお願い

雨水流出抑制を
お願いする対象施設

- ①公共下水道に雨水を排除する施設
- ②3,000m²以上の土地に設置する施設
- ③土地の半分以上が屋根や舗装に覆われる施設

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水防法に基づく内水氾濫と洪水の浸水想定区域図を同時に確認できる**札幌市浸水ハザードマップ**を令和4年3月に公表。
- ・北海道による中小河川の浸水想定区域指定を反映させた浸水ハザードマップを**令和4年度中に公表し、市内全戸配布を予定。**



浸水想定区域図

次年度に向けた予定

- ・氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策として、流出抑制施設の設置、窪地など雨水が集まりやすい場所への対策などを継続実施。
- ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策の周知や理解促進を継続実施。

(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
石狩市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道雨水管の整備 <p><望来川・厚田川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽・間伐等の森林整備 		<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道雨水管の整備 <p><望来川・厚田川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽・間伐等の森林整備 	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<p><新川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制の強化 ⇒中学校における防災授業の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ⇒避難所運営訓練の実施 <p>町内会・自主防災組織等市民に対する、コロナ感染症対策を踏まえた避難所運営及び備蓄資機材の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小河川における浸水想定区域の周知 		<p><新川・望来川・厚田川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制の強化 ⇒小中学校における防災授業の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成(新川のみ) ⇒避難所運営訓練の実施 <p>町内会・自主防災組織等市民に対する、コロナ感染症対策を踏まえた避難所運営及び備蓄資機材の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小河川における浸水想定区域の周知 	

【二級河川】流域治水プロジェクトに基づく 各種対策の概要について

石狩市

■令和4年度 取組内容『被害対象を減少させるための対策』新川：〈避難体制の強化〉

【一日防災学校の実施】（令和4年10月実施）

⇒児童生徒の災害時の「生きる力」を育む取組として学校が主体となり、防災まちづくり協会、防災マスターなどの協力のもと、平成30年度から毎年実施。

⇒市内中学校、中1～中3まで延べ約272名の児童生徒が参加。



花川北中学校 1日防災学校の様子
→ スライドを使った防災の授業



花川北中学校 1日防災学校の様子
→ 段ボールベットの組立・解体

【要配慮者利用施設の避難確保計画作成】

⇒各種社会福祉施設や学校、医療施設などの防災上の配慮を要する方が利用する施設で、市では82施設（うち新川51施設、望来川0施設、厚田川0施設）を対象として、施設ごとの避難確保計画を順次策定中。

⇒令和4年12月末現在で、78施設について計画策定完了（進捗率 約95%）

(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
石狩森林 管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<新川> <望来川> <厚田川> ・植栽・間伐等の森林整備	<新川> <望来川> <厚田川> ・治山施設等の点検・整備 ・植栽・間伐等の森林整備
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- ・R4年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備(間伐、植栽等)を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



植栽の実施状況



間伐の実施状況

石狩森林管理署 森林整備

(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
石狩 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 <新川> <望来川> ・森林整備事業(間伐、植栽等)石狩市にて実施 <厚田川> ・赤ハゲ右の沢予防治山工事ほか1工事(石狩市)を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)石狩市にて実施	【林務課】 <新川・望来川・厚田川> ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・石狩市の厚田川水系において溪間工の赤ハゲ右の沢予防治山事業の治山対策を新規着手。
- ・石狩市の厚田川水系及び望来川水系において、森林整備(間伐・植栽等)を計画的に実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



溪間工(治山ダム)の実施状況
(赤ハゲ右の沢・石狩市)



森林整備(下刈)の実施状況
(石狩市)

- ・治山事業について、継続事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
- ・各市等において森林整備(間伐・植栽等)を計画的に実施。

(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・新川の排水機場等の整備更新等の実施 ・望来川の河道掘削等の実施 ・厚田川の河道掘削等の実施	【建設管理部】 ・新川の排水機場等の整備更新等の継続実施 ・望来川の河道掘削等の継続実施 ・厚田川の河道掘削等の継続実施
	被害対象を減少させるための対策	【建設管理部】 <新川> ・洪水浸水想定区域図の更新公表 <新川・望来川・厚田川> ・洪水および土砂災害のリスクに係る情報の提供を継続実施	【建設管理部】 <新川・望来川・厚田川> ・洪水および土砂災害のリスクに係る情報の提供を継続実施
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 <新川> ・防災資機材等の備蓄 ・水害対応タイムラインを提供し運用を開始 <新川・望来川・厚田川> ・水位計・簡易カメラによる河川情報の提供	【建設管理部】 <新川> ・防災資機材等の備蓄 ・水害対応タイムラインの継続運用 <新川・望来川・厚田川> ・水位計・簡易カメラによる河川情報の提供

■令和4年度 取組内容

- ・ 継続実施していた新川の排水機場の部分更新、望来川、厚田川の掘削等による河川整備、砂防関係施設等の調査設計を行い、新川水系に防災資材(ブロック)を備蓄、新川のタイムラインの運用を開始し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



望来川(掘削工)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



新川(ブロック備蓄)

新川、望来川、厚田川の河川整備と新川にブロック備蓄を継続実施予定。
琴似発寒川の砂防施設整備に着手予定。

新規

ほろがわ

幌川水系ほか流域治水プロジェクト【位置図】

二級水系
流域治水プロジェクト

～石狩地方を水災害から守る治水対策の推進～

○ 昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化を踏まえて、市街地や農地等を洪水被害から守るため、流域における浸水被害の軽減を図る。 ※対象水系: 幌川、群別川、浜益川、濃昼川、正利冠川、旧知津狩川



- 凡例
- 北海道知事管理区間
 - 流域界
 - 市町村界

- 浸水想定区域図の提供
- 宅地建物取引等に係る災害リスク情報提供
- 水位計等による河川情報提供
- 高潮浸水シミュレーションの実施・公表
- タイムラインの普及促進等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 水位計や簡易型河川監視カメラ等による河川情報の提供
 - 洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知
 - 高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、河道内樹木伐採等
- 治山対策
- 森林整備(間伐・植栽)等
- 農地整備(用排水路、田んぼダム)

幌川の被災(R4.6月)

■被害対象を減少させるための対策

- 水災害のリスクに応じた土地利用・住まいの工夫
- まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の提供
- 宅地建物取引等に係る災害リスク情報提供促進

洪水浸水想定区域図 (IRIC)

0 5 10 20 km

幌川を含む6水系では流域全体を俯瞰的にとらえ、地域の産業と住民の安心・安全を確保するため、河道掘削等に加えて、空知総合振興局・石狩振興局における取組はもとより、国や石狩市とも協働しながら、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】家屋・農地等の浸水被害を防止・軽減するために局所的な洪水流下阻害部の河道掘削等や農地整備を推進
【中長期】河道掘削等による治水安全度の確保に取り組むとともに、森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備・保全対策に継続的に取り組むこと等により、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域内の人口・資産を守るための河道掘削など	空知総合振興局(建設管理部)	河道掘削・河道内樹木伐採等		
	山地災害から流域を守る治山対策	北海道森林管理局 石狩振興局(産業振興部)	治山施設等の点検・整備		
	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	北海道森林管理局 石狩振興局(産業振興部) 石狩市等	植栽・間伐等の森林整備		
	農作物や農地・農業用施設を守るための農地整備	石狩振興局(産業振興部)	用排水路整備、田んぼダム		
被害対象を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討	空知総合振興局(建設管理部)	浸水想定区域図提供		
	宅地建物取引等に係る災害リスク情報提供促進	空知総合振興局(建設管理部)	宅地建物取引等に係る災害リスク情報提供		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害を軽減させる取り組みの推進	空知総合振興局(建設管理部) 各機関	タイムラインの普及促進等 災害に強い施設の整備等		
	水位計や簡易型河川監視カメラ等による河川情報の提供	空知総合振興局(建設管理部)	水位計等による河川情報の提供		
	高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表	空知総合振興局(建設管理部)	高潮浸水シミュレーションの実施・公表		
	施設等被害の早期復旧に備えた防災資機材等の備蓄	石狩市	防災資機材等の備蓄		
	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知	石狩市	ハザードマップの作成・周知		
	防災教育の推進(教育用教材配布、防災授業実施)	石狩市	防災教育の推進		
	要配慮者利用施設に対する避難確保計画作成	石狩市	避難確保計画作成		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進